

しいのみ・たんぽぽ・みず



クラスだより

2024.9.30 円町まがね隣保園

しいの実ぐみ

今月からお友だちが1名増え、3名となりました。新しいお友だちはお母さんとの離れ際や遊んでいる途中に寂しくて涙が出ていましたが、少しずつ慣れ笑顔が見られたり、機嫌良く遊んでいます。4月から登園しているお友だちは、今までの雰囲気との違いを感じたり、保育者が新しいお友だちを抱っこしていると、始めは涙が出たり、いつもより甘えて抱っこを求めることがありました。今では、3名のしいの実組に慣れ、それぞれがのびのびと過ごしています。

たんぽぽぐみさんと😊

普段から、あそびや食事などたんぽぽ組と一緒に過ごしています。お部屋や園庭で一緒にあそんだり、散歩へ行ったり、絵本を見たり…。一緒に過ごす中で、個々の成長ももちろんありますが、たくさん刺激をもらっています。保育者が読んでいる絵本のフレーズをたんぽぽ組が真似をしているのを見たり聞いたりすることで、覚えて、一緒になって声を出し楽しそうにしています。また、給食やおやつの際の自分の座る場所や保育者が準備をしていると、おのれ方へ自ら来てくれることもあり、流水が定着してきています。そして、自分ごとの気持ちも少しずつ出てきて、ズボンや服の着脱をしようとする姿も見られ、自分ごのやりたいという思いも大いにしなやう、手助けするようになっています。10月は、室内や戸外への散歩へ行き、身体を動かしたり、秋の自然物に興味をもって触れていけたらと思っています。

たんぽぽぐみ

園庭あそびや散歩が中心の活動をしてきました。子どもたちは、最近友だちとの関わりが大好きで、日常生活の中でも、一緒に座って絵本を見たり、仕草や簡単な言葉でのやりとりをかわしたりして笑いあっています。園庭あそびでは、ダンゴムシを探しにバケツを持ってうろうろ…、大きなクラスの友だちが「ダンゴムシみつけた！」の声を聞いて近づいていき見せてもらっています。直接触ることが出来たり、ちよと怖がったりと様々な反応があります。散歩では、友だちと手を繋いで歩いています。友だちの手を離さず、しっかり握って歩くことや、前の友だちの後ろを歩くことを声かけしながら、保育園の近所の道を歩きました。自分の足で歩く楽しさや友だちと一緒に歩ける楽しさをみんな感じています。また、色々な発見もあり、コンクリートの道以外の砂利道の感触やザクザクする音がとても楽しくて笑っていました。これは自分の足で歩いてみないと分からない発見です。今後も周辺の道を歩き、車や自転車など、交通ルールにも気をつけながら、友だちと歩く経験を積み重ねていきたいと思っています。



「友だちがしてるからやりたい」と思うのは、1歳児から育まれていきます。子どもたちは友だちや大人の姿をよく見ています。友だちと一緒にこれがしたいと思い、「いつしよにやろ」と誘うこともあります。もちろん、いつもうまくいくとは限らず、自分と友だちの思いが違ってぶつかりあいをすることの方が多いですが、その中で相手や自分を知っていくのだと思います。遊びの中で、保育者と一対一で触れ合いあそびをしていると、気づいたら2人、3人と増えていました。大人との関わりから子ども同士の間隔も変化していき、大人の真似をして遊んでいることもありました。関係を広げ、「おもしろい」「一緒にやりたい」気持ちを広げていけたらいいなと思います。

9月前半はまだ暑さが残る季節でした。シャワーをあび、汗を流す気持ちよさを感じながら元気に遊ぶ子どもたちです。戸外活動で、友だちとの関わりを楽しみながら周りの景色の変化を感じられるといいなと思います。いよいよ運動会の季節になってきました。幼児クラスの子どもの姿を見て刺激をもらいながら、過ごしていきたいと思っています。

みずぐみ

☆お医者さんごっこ☆ 自由遊びで「最近ゲームなのがお医者さんごっこ！始まる時に子どもたちは必ず、牛乳パックで作った四角い椅子を4つ並べて患者さんが寝ころぶ診療台を作っています。そして、積み木やスプーンやハンカチなどの玩具を注射器や聴診器、絆創膏に見立てて遊んでいます。細長い長方形の積み木を体温計に見立てて脇に挟んで「ピピピピ！37度です」と言ったり「どこが痛いですか？」「ちよとチツ」としまよん」と注射する動作をしたりとイメージがどんどん膨らんでやりとりも本格的になってきています。ごっこ遊びは大人や身近な人の真似をするところから始まり、年齢や成長過程に応じて遊び方が変化していく遊びです。一緒に遊ぶ中でもそれぞれの子どものイメージや友だちと遊びたい気持ちを大事に保育者も遊びに合わせたり、一緒に楽しむように見守っています。

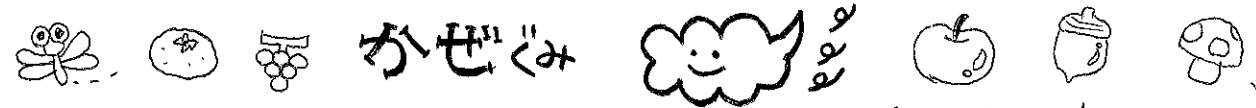


給食室のお手伝い👩🏻👨🏻 お手伝いすることが大好きな子どもたち。7月には「しめじさき」、9月のお手伝いは「シラスちぎり」をしました。給食室でもらった真ん丸なシラスを一人ずつ持ってみました。「どんな匂いがあるのかな？」と匂いを嗅いでみたり「重たくない」と言ったり本来の野菜に鹽味をまわっている姿もありました。その後は、みんなでシラスをちぎります。給食でみんなが食べることを伝えると小さく小さく丁寧に着きついている姿がありました。給食の先生に「お手伝いありがとう」と言ってもらって嬉しくて自然と笑顔になる子どもたち！給食の日時間になり、おつゆの中に入っていることを見つけると喜んで保育室に見せて食べていました。「ちぎり・割く・皮をむく」などの動作は簡単なことですが、食事には自分の関わってくる子どもたちはその食事をより楽しみにできます。「お手伝い楽しかった！またやりたい！」の気持ちを大切に今後も給食室のお手伝いをしていきたいと思っています😊👩🏻👨🏻 お家で料理の全部ではなく、簡単なことを1つぜひお手伝いをお願いして一緒にしてみたいね👩🏻👨🏻

9月

かぜ ぞら たいよう クラスだより

2024.09.30
円町まふね隣保育園



3歳児クラスになり半年が経ちました。友だち同士の会話を楽しんだり、保育者と一緒も嬉しいけれど、“友だちと一緒にがいい”という姿に少しずつ変わってきました。ケンカをしたり、保育者に助けを求めたり、笑い合ったりしながら、どんどん友だちとの仲が深まっています。

喜んだり、怒ったり、笑ったり、泣いたり 変化する子どもたちの表情からも、日々の生活の中で様々な感情を経験しながら成長していることがよく分かります。

そんな子どもたちの姿をこれからもゆくりと見守ってきたいと思います。

★ 『イキズる力・表現力』 ★

ごっこあそびを長時間繰り返したり、同じ話題と一緒に盛り上がり、理解できることも増えていく3歳児。

運動あそびを始める前に、「今日は何に変身してあそぶ？」と聞くと、「うせ！」、「だんごむし！」、「ゴリラ！」と、自分たちでイキズって運動あそびを楽しんでいます。運動会ごっこ時も、「だんごむしになる！」と張り切っています。①「だんごむしってどんなん？」 ②「えーとな、こんなん！」 ③「どうやって進むの？」 ④「〇〇こうやってうごくわ」 ⑤「ちやうど〜 ころやアヤで」 ⑥「それやたらすあるな！」と、イキズがどんどん膨らむようになっていきます。

そこで更に、⑦「だんごむしになるなら森の中がいいかな？」と聞くと、⑧「えー！ははのしたとか、いしのしたとか...」と、話し始めると止まらなくなる程でした。他にもあそびの中で、床に目印となる物を配置し、⑨「重かきに合せてジグザグジグザグ...」と伝えられることで、ジグザグ走行が出来るようになったり、ピョンピョンという声が出ると、跳ねたり重かきを変えられるようになっていきます。

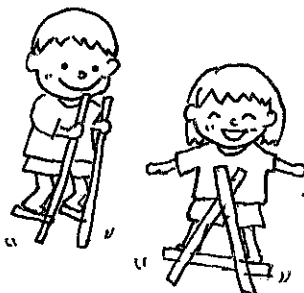
こうして1つひとつの重かきを分かりやすく伝えたり、普段は何気なくしている重かきであっても「足踏み」「止まる(ピタッ)」「2人組」等々、ことばでゆくりと伝えていくことで、ことばと重かき(行動)が一致していくことへと繋がります。そして“小さい”を伝える時には小さな声で話したり、“大きい”を伝える時には「おお〜きい」と大袈裟に伝えたりすることで、子どもたちのイキズる力や表現力も育まれていきます。これからもあそびの中でそういった機会を沢山つくり、表現するあもしろさを存分に味わいながら過ごしていきたいと思います。

日差しには まだ夏の名残もありますが、日の長さも随分と短くなってしまいました。運動会ごっこや戸外遊びでは汗を流し全力で楽しむ子どもたちです。

まだまだ残暑厳しい日が続くので 水分補給をしっかりと 元気に過ごしていって 思います。

『F』 運動会に向けて

運動会に向けてごっこを楽しんでいます。竹馬・三角馬・竹登りや走り縄遊び、また今年はそのたより組が合同で過ごしていることもあり、リレーを含め混合の競技もあります。竹馬・三角馬も初めはバランスをとること、進むことが難しく全体重を保育者に委ねていてこのころから、軽騎を重なるうち、コツを掴み本音を安定させて乗ることが出来るようになってきました。日頃からのリズムや、戸外での身体を動かす遊び、散歩、夏に楽しんでたプールなど、様々な経験が積み重なって色々な身体の使い方を試み、使えるようになってきたのだと感じています。



乗れるようになるまでは“難しい”“出来ない”という気持ちから消極的な姿もありましたが、乗れるようになった友だちの姿に刺激を受けたり、あともうちょっと乗れよう！という感覚が自分で掴めるようになってくると、乗れるようにしたいという思いがまた強くなって意欲につよがっているようでした。「運動会ごっこするよ！」「リレーしよう」と言ったら「よしー！」と大喜びで、友だちと一緒に何かに取り組むことが楽しかったり、出来ないからこのころから出来るようになってきた時の達成感を感じたり、出来るようにしたいという思いで真剣に元氣張る気持ちなどが、またやりたいという気持ちや喜びになっているのだから子どもたちの姿を見ていくと思います。

日中、運動会ごっこで竹馬や三角馬をしていても、夕方また子どもたちから「竹馬したい！」「三角馬やりたい！」という声が沢山聞かれます。お家の方が揃ってくださった心の込められたセーターのついたクラスTシャツを着て、お山がまた子どもたちの力となって運動会に参加して行く姿が今からとても楽しみです。竹馬、三角馬だけでなく、他の競技も“出来る”“出来ない”にこだわらず、一人ひとりのペースはそれぞれなので、その子どもなりの今の一往懸命な姿を見てもいいと思います。

そのたより組には、少しずつ自分の身体を気持ちよくコントロール出来る力がついてきています。反面、自分の出来ないことにも目がいき、「できない自分」にイキズってたり、イライラしたりする姿もありますが、運動会を通して達成感を感じたり、自信を持つていくことで、出来ない自分に直面しても 友だち同士や 保育者の后かまいの中で 乗り進めたい自分の力にしていくことが出来ます。一人ひとりの育ちを大事にしていきたいと思います。

当日は どうぞ よろしく お願いいたします。

